

事業シート(平成29年度決算)

事業名	72100 道路橋りょう管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
			款	7	土木費		個別分野	2	道路		
			項	2	道路橋りょう費		施策概要	3	将来の負担を軽減する老朽化対策の推進		
			目	1	道路橋りょう総務費		根拠計画				
担当課	建設部 維持課	内線		2322							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・道路、トンネル等を良好な状態で利用できるよう維持する。	概要	・道路照明の保守点検及び修繕 ・道路防災設備や融雪設備の保守点検及び修繕
----	------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		69,905	55,826	71,105	71,105	65,476
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(道路占用料 等)	69,905	55,826	71,105	71,105	65,476
一般財源		0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	道路関連施設の維持管理	69,905	55,826	71,105	71,105	65,476

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・道路照明、融雪設備等の管理に係る電気使用料等の負担 ・融雪設備等の保守点検及び修繕 ・トンネル等の防災設備保守点検及び修繕
評価等	・適切に道路の維持を行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・引き続き、市民が安全に道路施設を利用できるよう、適正な維持管理を行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・道路照明、融雪設備等の管理に係る電気使用料等の負担 ・融雪設備等の保守点検及び修繕 ・トンネル等の防災設備保守点検及び修繕
評価等	・適切に道路の維持を行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・引き続き、市民が安全に道路施設を利用できるよう、適正な維持管理を行う。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	68,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
95,194	85,907	85,907	14,802
78,705	76,714	76,714	5,609
16,489	9,193	9,193	9,193
査定額	説明		
85,907	高山駅東西線(自由通路)維持管理費の増		
	(都市計画課より移行)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・高山駅東西線(自由通路)など市道及び附属設備の適切な管理に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

30_維持課.xlsx_2

事業名	72110 急傾斜地崩壊対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。
					款	7	土木費		個別分野	7	防災		
					項	2	道路橋りょう費		施策概要	3	自然災害防止施設の充実		
					目	1	道路橋りょう総務費		根拠計画	急傾斜地崩壊対策整備5か年計画			
担当課	建設部 維持課		内線	2322									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・急傾斜地崩壊危険箇所の整備を行い、崩土による被災から市民の生命・財産を守る。	概要	・重力式擁壁・もたれ擁壁・法面工、落石防護柵等を設置する。
----	---	----	-------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		48,000	19,605	45,000	45,000	24,798
特定財源	国費 ()					
	県費 (急傾斜地崩壊対策事業費2/3)	32,000	12,940	30,000	30,000	14,000
	その他()					
一般財源		16,000	6,665	15,000	15,000	10,798
個票枝番	主な事業内容					
	下ミセノ地区(松之木町地内)	30,000	12,882	20,000	20,000	15,780
	無数河地区(久々野町地内)	18,000	6,723	25,000	25,000	9,018

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	27,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
55,000	45,000	45,000	0
36,000	30,000	30,000	0
19,000	15,000	15,000	0
査定額	説明		
20,000			
25,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・下ミセノ地区 急傾斜地崩壊対策工 L=23.1m ・無数河地区 急傾斜地崩壊対策工 L=24.2m
評価等	・対策工が必要な箇所は多く、早期に事業を進め効果を発揮させる必要があり、県に対して今後も継続して事業費拡大を要望する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・急傾斜地崩壊対策整備5か年計画に基づき整備を進める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・下ミセノ地区 急傾斜地崩壊対策工 L=9m ・無数河地区 急傾斜地崩壊対策工 L=12m
評価等	・対策工が必要な箇所は多く、早期に事業を進め効果を発揮させる必要があり、県に対して今後も継続して事業費拡大を要望する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・急傾斜地崩壊対策整備5か年計画に基づき整備を進める。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

30_維持課.xlsx_2

72110

事業シート(平成29年度決算)

事業名	72120 道路台帳管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
					款	7	土木費		個別分野	2	道路		
					項	2	道路橋りょう費		施策概要	4	生活に身近な道路の環境の向上		
					目	1	道路橋りょう総務費		根拠計画				
担当課	建設部 維持課		内線	2322									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・道路法に基づく道路台帳を整備し、市道の適切な維持管理を行う。 ・未登記路線を整理し、市道の適正な管理を行う。	概要	・道路整備完了箇所や占用物変更箇所を台帳に反映し、正確な道路台帳を整備・活用する。 ・市道未登記箇所の測量を行い、所有者からの寄附により道路用地として市への所有権移転登記を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		66,000	63,007	66,000	66,000	65,933
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(諸手数料)	40	72	40	40	47
一般財源		65,960	62,935	65,960	65,960	65,886
個票枝番	主な事業内容					
	道路台帳加除	16,000	14,764	16,000	16,000	15,991
	市道用地登記整理	50,000	48,243	50,000	50,000	49,942

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	66,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
66,000	66,000	66,000	0
40	40	40	0
65,960	65,960	65,960	0
査定額	説明		
16,000			
50,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・管内道路台帳の補正 ・市道未登記用地の調査・測量・登記
評価等	・道路法28条に基づき適正に台帳補正を行った。 ・未登記路線の早期解決に向け、積極的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・引き続き、道路台帳整備に取り組む。 ・引き続き、未登記路線が早期に解決できるよう取り組む。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・管内道路台帳の補正 ・市道未登記用地の調査・測量・登記
評価等	・道路法28条に基づき適正に台帳補正を行った。 ・未登記路線の早期解決に向け、積極的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・引き続き、道路台帳整備に取り組む。 ・引き続き、未登記路線が早期に解決できるよう取り組む。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりの

事業シート(平成29年度決算)

事業名	72200 道路橋りょう維持修繕事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
					款	7	土木費		個別分野	2	道路		
					項	2	道路橋りょう費		施策概要	4	生活に身近な道路の環境の向上		
					目	2	道路橋りょう維持費		根拠計画				
担当課	建設部 維持課	内線	2322										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・道路の走行性及び安全性の維持・向上を図り、安心で快適な道路網を確立する。	概要	・側溝、舗装、橋りょう等の道路施設の維持修繕を実施する。
----	---------------------------------------	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		1,354,500	1,045,652	483,000	1,416,051	1,099,239
特定財源	国費 (道路整備事業費5.5/10 等)	22,000	104,625	43,500	27,500	142,099
	県費 ()					
	その他(原因者工事費 等)	6,000	3,638	6,000	36,500	30,731
一般財源		1,326,500	937,389	433,500	1,352,051	926,409
個票枝番	主な事業内容					
	道路修繕	438,400	288,290	180,000	442,000	299,823
	側溝修繕	405,100	348,766	100,000	325,000	345,441
	舗装修繕	383,300	282,301	100,000	420,277	308,823
	橋りょう修繕等	43,700	42,912	20,000	29,000	25,567
	道路防災点検等	61,000	60,553	60,000	96,774	96,773
	景観まちづくり刷新事業					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕等の工事契約件数 N=448件 ・道路施設点検調査 N=78箇所
評価等	・生活に密着した道路、橋りょう等を適切に修繕し、良好な道路環境を維持している。 ・コスト縮減や効率的な維持管理の観点から、中長期的な整備基準を確立する必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・引き続き、道路施設の修繕を行うことで、道路の安全性を確保し、安心で快適な道路網を維持する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕等の工事契約件数 N=371件 ・道路施設点検調査 橋梁点検 N=63橋、トンネル点検 N=6箇所
評価等	・生活に密着した道路、橋りょう等を適切に修繕し、良好な道路環境を維持している。 ・コスト縮減や効率的な維持管理の観点から、中長期的な整備基準を確立する必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・引き続き、道路施設の修繕を行うことで、道路の安全性を確保し、安心で快適な道路網を維持する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	626,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
879,300	636,000	636,000	153,000
45,100	27,500	27,500	△ 16,000
87,500	87,500	87,500	81,500
746,700	521,000	521,000	87,500
査定額	説明		
180,000			
100,000			
100,000			
20,000			
50,000			
163,000	上二之町大新町線、本町線 等		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・まちなかの景観刷新 ・協働のまちづくりの推進
担当課 予算要求 ポイント	・景観まちづくり刷新事業による道路・側溝の整備 ・まちづくり協議会からの情報提供による市道の維持修繕の実施

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 橋りょうの長寿命化改修に係る経費は道路新設改良費へ移行
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	72210 道路清掃事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
						款	7	土木費		個別分野	2	道路		
						項	2	道路橋りょう費		施策概要	4	生活に身近な道路の環境の向上		
						目	2	道路橋りょう維持費		根拠計画				
担当課	建設部 維持課	内線	2322											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・道路清掃や草刈りを行い、道路環境の保全や景観向上・安全確保を図る。 ・集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客の通行の安全確保を図る。	概要	・道路上の粉塵、ごみの除去及び草刈り、側溝の清掃
----	--	----	--------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		6,000	5,840	6,000	5,949	5,949
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		6,000	5,840	6,000	5,949	5,949
個票枝番	主な事業内容					
	道路及び側溝の清掃、草刈り	6,000	5,840	6,000	5,949	5,949

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
7,694	6,000	6,000	0
7,694	6,000	6,000	0
査定額	説明		
6,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・道路清掃・草刈り等の実施
評価等	・道路の美観が保たれており、景観向上等にもつながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・道路の安全確保や景観保全の観点から継続して実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・道路清掃・草刈り等の実施
評価等	・道路の美観が保たれており、景観向上等にもつながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・道路の安全確保や景観保全の観点から継続して実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	72400 交通安全対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
					款	7	土木費		個別分野	8	安全		
					項	2	道路橋りょう費		施策概要	1	交通事故の防止		
					目	4	交通安全対策費		根拠計画				
担当課	建設部 維持課			内線	2322								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・交通事故の危険性がある箇所に交通安全施設を設置し、適正な維持管理を行うことで、安全性の向上及び事故防止を図る。	概要	・道路反射鏡、ガードレール、道路照明、道路区画線の新設や修繕を行う。 ・交通安全施設等の適正な維持管理を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		61,646	58,521	36,646	51,646	49,501
特定財源	国費 (道路整備事業費5.5/10)	0	16,500			1,210
	県費 ()					
	その他(交通安全施設整備基金繰入金)	3,641	3,641			
一般財源		58,005	38,380	36,646	51,646	48,291
個票枝番	主な事業内容					
	防護柵、道路反射鏡、区画線、交差点等照明、道路標識ほか	57,000	54,687	32,000	45,000	43,776
	交通安全施設の維持管理	4,646	3,834	4,646	6,646	5,725

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	36,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
38,690	36,146	36,146	△ 500
38,690	36,146	36,146	△ 500
査定額	説明		
32,000			
4,146			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・ガードレール・防護柵設置、修繕 L=1,127.4m(うち、新設L=392.9m) ・道路反射鏡設置、修繕 N=27基(うち、新設N=21基) ・区画線設置、修繕 L=45,555m(うち、新設L=3,839m) ・道路照明灯設置、修繕 N=87基(うち、新設N=51基)
評価等	・地域の危険箇所に施設を設置しており、交通安全に寄与している。 ・交通安全施設や道路照明の設置については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストや環境に配慮し推進する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・引き続き、交通安全施設の適正な管理及び経費の節減に努める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・ガードレール・防護柵設置、修繕 L=437.3m(うち、新設L=88.0m) ・道路反射鏡設置、修繕 N=34基(うち、新設N=26基) ・区画線設置、修繕 L=80,710.4m(うち、新設L=1,620.0m) ・道路照明灯設置、修繕 N=63基(うち、新設N=1基)
評価等	・地域の危険箇所に施設を設置しており、交通安全に寄与している。 ・交通安全施設や道路照明の設置については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストや環境に配慮し推進する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・引き続き、交通安全施設の適正な管理及び経費の節減に努める。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	72410 バリアフリー対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
					款	7	土木費		個別分野	2	道路		
					項	2	道路橋りょう費		施策概要	4	生活に身近な道路の環境の向上		
					目	4	交通安全対策費		根拠計画	道路施設バリアフリー5か年計画			
担当課	建設部 維持課		内線	2322									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・歩行者が安全で快適に利用できる環境づくりに向け、ユニバーサルデザインの観点から道路施設のバリアフリー化を推進する。	概要	・道路施設のバリアフリー化整備(既設側溝改修・蓋設置並びに路肩部のカラー舗装、歩道段差解消、グレーチング蓋の細目化) ・歩行者移動支援施設の整備(知らせるあかり)
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
歩車共存型道路整備延長(累計)	3,826m	4,251m	6,000m
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	62.3%	61.9%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		90,000	87,567	87,000	118,000	108,781	21,214
特定財源	国費 (道路整備事業費5.5/10 等)	38,500	27,296	41,850	41,850	45,127	17,831
	県費 ()						
	その他(公共施設整備基金繰入金、景観まちづくり刷新事業雑入)				15,500	12,109	12,109
一般財源		51,500	60,271	45,150	60,650	51,545	△ 8,726
個票枝番	主な事業内容						
	歩車共存型道路整備(歩行空間の確保)	90,000	87,567	87,000	118,000	108,781	21,214
	景観まちづくり刷新事業						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	114,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
139,000	109,000	109,000	22,000
60,500	33,000	33,000	△ 8,850
14,500	34,500	34,500	34,500
64,000	41,500	41,500	△ 3,650
査定額	説明		
80,000			
※			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・歩車共存型道路整備(歩行空間の確保) 市道日枝花里線 L=463m ・整備済路線修繕(市内一円)
評価等	・道路の段差解消や歩行空間の確保により、高齢者等が安全で利用しやすい道路環境が提供されている。 ・維持管理や環境に配慮した工法や資材の検討を行い、コスト縮減に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・道路施設バリアフリー5か年計画に基づき整備を進める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・歩車共存型道路整備(歩行空間の確保) 市道朝日町神田線 L=425m ・整備済路線修繕(市内一円)
評価等	・道路の段差解消や歩行空間の確保により、高齢者等が安全で利用しやすい道路環境が提供されている。 ・維持管理や環境に配慮した工法や資材の検討を行い、コスト縮減に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・道路施設バリアフリー5か年計画に基づき整備を進める。

施策の実施方針	・まちなかの景観刷新
担当課 予算要求 ポイント	・景観まちづくり刷新事業による市道のバリアフリー整備

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

30_維持課.xlsx_8

事業名	72420 臨時駐車場対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
			款	7	土木費		個別分野	2	道路		
			項	2	道路橋りょう費		施策概要	5	道路利用の快適性向上		
			目	4	交通安全対策費		根拠計画				
担当課	建設部 維持課	内線	2322								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山祭や大型連休、お盆期間中など駐車場が満車となり、交通渋滞が発生する恐れがある場合、臨時駐車場の開設等により市内の渋滞緩和を図り、観光客の利便性を向上させる。	概要	・臨時駐車場の開設、交通誘導員の配置、案内看板の設置、駐車場から観光客を運ぶシャトルバスの運行
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		19,670	18,617	18,670	18,670	16,111
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(その他雑入)		2,894			2,076
一般財源		19,670	15,723	18,670	18,670	14,035
個票枝番	主な事業内容					
	臨時駐車場の運営	19,670	18,617	18,670	18,670	16,111

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	19,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
26,617	21,470	21,470	2,800
26,617	21,470	21,470	2,800
査定額	説明		
21,470			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・交通渋滞対策本部の設置(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆) ・臨時駐車場の開設(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク) ・シャトルバスの運行(秋の高山祭)
評価等	・市内の既存駐車場の利用状況を的確に把握し、混雑の状況に応じて適切に臨時駐車場の開設が行えた。 ・観光入込客の増加にも対応できるよう、臨時駐車場開設時間やシャトルバスの運行台数など、効率的・効果的な運営を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・これまでに蓄積されたデータや駐車場案内システム、FM放送、インターネットを活用して、効率的な臨時駐車場の開設を継続して行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・交通渋滞対策本部の設置(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆) ・臨時駐車場の開設(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク) ・シャトルバスの運行(秋の高山祭)
評価等	・市内の既存駐車場の利用状況を的確に把握し、混雑の状況に応じて適切に臨時駐車場の開設が行えた。 ・観光入込客の増加にも対応できるよう、臨時駐車場開設時間やシャトルバスの運行台数など、効率的・効果的な運営を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・これまでに蓄積されたデータや駐車場案内システム、FM放送、インターネットを活用して、効率的な臨時駐車場の開設を継続して行う。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

30_維持課.xlsx_8

72420

事業シート(平成29年度決算)

事業名	72500 除雪対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
					款	7	土木費		個別分野	2	道路		
					項	2	道路橋りょう費		施策概要	6	官民協働による除雪の推進		
					目	5	除雪対策費		根拠計画	除雪計画、消融雪側溝整備5か年計画			
担当課	建設部 維持課		内線	2322									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民の安心・安全な暮らしを守るため、冬期間の道路除雪及び除雪補充作業による交通確保を行う。 ・高齢者や女性でも無理なく安全に利用でき、地域住民が協働で雪またじに取り組める環境整備を図る。	概要	・委託業務による除雪作業の実施 ・除雪機械の購入 ・凍結による事故防止のための薬剤購入 ・消融雪側溝の整備
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
消融雪側溝整備延長(累計)	3,310m	4,226m	4,800m

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,284,200	1,139,832	697,200	997,200	959,380	△ 180,452
特定財源	国費 (道路整備事業費2/3)	60,000	39,188	88,300	88,300	184,954	145,766
	県費 (歩道除雪費)	3,000	14,859	3,000	3,000	11,138	△ 3,721
	その他(地方債)	6,000	4,600	14,000	14,000	12,000	7,400
一般財源		1,215,200	1,081,185	591,900	891,900	751,288	△ 329,897
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	道路・歩道除雪	1,200,000	1,065,476	565,000	885,000	855,230	△ 210,246
	消融雪側溝整備	40,000	34,591	53,000	52,116	52,080	17,489
◎ 2	道路融雪設備整備	18,000	17,842	7,000	7,884	7,884	△ 9,958
	除雪車両更新	18,000	13,800	44,000	44,000	36,000	22,200

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・除雪業務委託 車道L=939km、歩道L=77km、合計L=1,016km ・消融雪側溝整備(名田神明線ほか) L=277m ・除雪機購入(除雪ドーザ) N=1台 ・下水熱を利用した融雪設備(石浦森下線ほか)
評価等	・冬期の安全な交通の確保、市民の雪またじの労力軽減に寄与している。 ・除雪業者の確保や除雪路線を検討し、効率的な除雪を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・冬期における市民生活の安全確保、雪またじの負担軽減を図るため、引き続き除雪作業を行う。 ・路面状況の悪化により、市民生活に多大な影響があったことを踏まえ、地域や除雪業者との協議を進め、除雪の実施方法等の見直しを進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・除雪業務委託 車道L=939km、歩道L=77km、合計L=1,016km ・消融雪側溝整備(朝日町神田線ほか) L=916m ・除雪機購入(ロータリー除雪車) N=1台 ・温泉熱を利用した融雪設備(中尾線) L=285m
評価等	・出勤基準等を見直したことで、迅速で効率的な除雪作業が実施でき、冬期交通の安全確保が図れた。 ・除雪業者の確保や除雪路線を検討し、効率的な除雪を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・冬期における市民生活の安全確保、雪またじの負担軽減を図るため、引き続き除雪作業を行う。 ・老朽化した市有除雪車両を計画的に更新し、現行除雪体制の維持・強化を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	608,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
723,466	675,200	675,200	△ 22,000
92,196	78,450	78,450	△ 9,850
4,000	3,000	3,000	0
627,270	593,750	593,750	1,850
査定額	説明		
585,000			
15,000	消融雪側溝整備(朝日町神田線ほか)		
4,000			
63,000			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・除雪の推進
担当課予算要求ポイント	・安定した除雪体制を維持するための計画的な除雪機械の導入・更新

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	72500除雪対策事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	建設部 維持課
			☒ H29拡充	☐ H30拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1道路・歩道除雪		☐ その他重要事業			項	2	道路橋りょう費	内線	2322
			☐			目	5	除雪対策費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・除雪業者は降雪や稼働時間に関わらず、雪寒期の除雪作業判断に必要な待機作業員の人件費や、除雪機械を保有するために必要な固定経費は毎年必要なことから、基本補償制度の見直しを行い除雪業者の負担軽減を図ることで、安定した除雪体制を維持する。	概要	・除雪機械基本補償料、待機料の見直し
----	---	----	--------------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	500,000
	繰越	0
	補正等	700,000
	最終	1,200,000
決算額		1,065,476
対前年度増減額(決算)		735,964

事業実績、評価等		
[事業実績] ・除雪機械基本補償料 400台 ・待機料 134社		
[評価] ・除雪機械の維持管理等にかかる除雪業者の経費負担軽減が図られた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、除雪業者の経費負担を軽減することで、安定した除雪体制の維持に努める。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	585,000
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		85,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・除雪機械基本補償料、待機料	
[スケジュール] ・11月 除雪業務委託契約締結、除雪使用機械の登録・審査	

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	585,000
	繰越	0
	補正等	300,000
	最終	885,000
決算額		855,230
対前年度増減額(決算)		△ 210,246

事業実績、評価等		
[事業実績] ・除雪機械基本補償料 417台 ・待機料 141社		
[評価] ・基本補償制度等の積算方法を見直し、除雪業者の負担軽減を図ったことで、安定した除雪体制を維持できた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、除雪業者の経費負担を軽減することで、安定した除雪体制の維持に努める。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	585,000
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・除雪機械基本補償料、待機料	
[スケジュール] ・11月 除雪業務委託契約締結、除雪使用機械の登録・審査	

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	72500 除雪対策事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	建設部 維持課
			☒ H29拡充	☐ H30拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	2 道路融雪設備整備		☐ その他重要事業			項	2	道路橋りょう費	内線	2322
			☐			目	5	除雪対策費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然エネルギー(温泉熱)を活用した融雪設備を整備し、地域住民及び観光客の冬期交通の安全を確保する。	概要	・奥飛騨温泉郷中尾地内における融雪設備の整備(市道中尾線・市道中尾岳岳線)
----	--	----	---------------------------------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	18,000
	最終	18,000
決算額		17,842
対前年度増減額(決算)		0

事業実績、評価等		
[事業実績] 下水熱を活用した凍結防止施設整備 ・市道石浦森下線 L=12m A=12㎡ ・市道上一之町花里線 L=30m A=18㎡		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・施設の融雪状況及び効果について検証する。(3年間)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	7,000
主な経費	・工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		7,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 温泉熱を活用した融雪設備整備 ・市道中尾線 温泉熱融雪設備整備 L=300m	
[スケジュール] ・4月 設計・地元調整・工事発注 ・9月 完成	

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	7,000
	繰越	0
	補正等	884
	最終	7,884
決算額		7,884
対前年度増減額(決算)		△ 9,958

事業実績、評価等		
[事業実績] 温泉熱を活用した融雪設備整備 ・市道中尾線 温泉熱融雪設備整備 L=285m		
[評価] ・使用を開始したところ、良好な融雪効果が確認され、冬期交通の安全性が向上した。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・引き続き、自然エネルギー(温泉熱)を活用した融雪設備の整備を進める。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	4,000
主な経費	・工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		△ 3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 温泉熱を活用した融雪設備整備 ・市道中尾線 温泉熱融雪設備整備 L=150m	
[スケジュール] ・4月～7月 設計・地元調整・工事発注 ・12月 完成	

事業シート(平成29年度決算)

30_維持課.xlsx_12

事業名	73100河川清掃事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
			款	7	土木費		個別分野	2	生活環境		
			項	3	河川費		施策概要	3	公害対策の強化		
			目	1	河川維持費		根拠計画				
担当課	建設部維持課	内線	2322								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・河川堤防の除草を実施し、河川環境の保全を図る。 ・河川内のごみ清掃や雨水排水暗渠等の土砂除去を行い、排水機能を確保することで、水環境を保全する。 ・市街地周辺の河川清掃を行い、市民のみならず観光客にも良好な河川環境を提供し、高山市のイメージ向上を図る。	概要	・1級河川の堤防除草作業を地元町内会等に委託する。 ・河川内のごみ収集運搬、暗渠の土砂除去を専門業者に委託する。 ・市街地周辺の河川清掃を任意団体(河川を美しくする会)に委託する。 ・水門管理者による適正な水門管理を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		25,495	25,394	25,500	25,500	25,345
						△ 49
特定財源	国費 ()					
	県費 (河川草刈業務費)	18,100	19,200	19,200	19,200	19,564
	その他(河川占用料)	6,340	6,194	6,300	6,300	5,781
一般財源		1,055	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	河川清掃、草刈りほか	25,495	25,394	25,500	25,500	25,345
						△ 49

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	23,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
25,512	25,880	25,880	380
19,200	19,600	19,600	400
6,312	6,280	6,280	△ 20
0	0	0	0
査定額	説明		
25,880			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・一級河川の堤防除草(A=338,500㎡) ・河川清掃時に発生するごみの収集 ・暗渠排水の通水機能確保 ・水門管理者による水門管理の実施
評価等	・身近な河川を熟知している地域住民の手によって作業が行われており河川環境の向上につながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・観光客の多い市街地周辺の河川環境の保全に努め、市のイメージアップを図るため継続して実施する。 ・側溝や水路の機能を確保するため継続して実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・一級河川の堤防除草(A=338,500㎡) ・河川清掃時に発生するごみの収集 ・暗渠排水の通水機能確保 ・水門管理者による水門管理の実施
評価等	・身近な河川を熟知している地域住民の手によって作業が行われており河川環境の向上につながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・観光客の多い市街地周辺の河川環境の保全に努め、市のイメージアップを図るため継続して実施する。 ・側溝や水路の機能を確保するため継続して実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	73120 普通河川整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	7	土木費		個別分野	7	防災		
					項	3	河川費		施策概要	3	自然災害防止施設の充実		
					目	1	河川維持費		根拠計画				
担当課	建設部 維持課		内線	2322									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・普通河川周囲の良好な生活環境の確保と、豪雨等による災害を防止するため、護岸や河床の整備を実施する。	概要	・雨水排水等による普通河川の溢水箇所の整備を行い環境保全を図る。
----	--	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職人人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		135,945	132,574	173,000	243,000	213,816
特定財源	国費 (中部縦貫自動車道関連事業費)			103,000	103,000	114,223
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		135,945	132,574	70,000	140,000	99,593
個票枝番	主な事業内容					
	普通河川の整備	135,945	130,738	70,000	140,000	98,599
◎ 1	中部縦貫自動車道関連普通河川整備			103,000	103,000	114,223

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	70,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
70,000	70,000	70,000	△ 103,000
70,000	70,000	70,000	0
査定額	説明		
70,000			
	H29完了		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・河川整備工事 契約件数 N=56件
評価等	・老朽化、断面不足等の普通河川を計画的に整備することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・引き続き普通河川の整備を実施する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・河川整備工事 契約件数 N=47件 ・中部縦貫自動車道関連普通河川整備工事 契約件数 N= 4件
評価等	・老朽化、断面不足等の普通河川を計画的に整備することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・引き続き普通河川の整備を実施する。

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	73120 普通河川整備事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	建設部 維持課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1 中部縦貫自動車道関連普通河川整備		☐ その他重要事業			項	3	河川費	内線	2322
			☐			目	1	河川維持費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・中部縦貫自動車道整備による道路排水の流末処理となる排水路を整備する。	概要	・排水路の整備
----	-------------------------------------	----	---------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

事業実績、評価等		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	103,000
主な経費		
	・工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		103,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・中切排水路(中切町地内) L=270m ・姥ヶ懐排水路(丹生川町新張地内) L=550m	
[スケジュール] ・ 4～8月 設計・地元調整・工事発注 ・ 3月 完成	

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	103,000
	繰越	0
	補正等	11,223
	最終	114,223
決算額		114,223
対前年度増減額(決算)		114,223

事業実績、評価等		
[事業実績] ・中切排水路(中切町地内) L=294m ・姥ヶ懐排水路(丹生川新張地内) L=405m		
[評価] ・排水断面を拡大する整備を行ったことで、沿線の浸水被害が解消できた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 103,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	

事業シート(平成29年度決算)

30_維持課.xlsx_15

事業名	74800 駐車場管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
						款	7	土木費		個別分野	2	道路		
						項	4	都市計画費		施策概要	5	道路利用の快適性向上		
						目	8	駐車場管理費		根拠計画		駐車場整備計画		
担当課	建設部 維持課	内線	2322											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市営駐車場を適正に維持管理し、駐車場利用者の利便性を向上させ、市内の渋滞緩和を図る。	概要	・指定管理者による駐車場の運営・管理 ・計画的な機器類の改修・更新工事の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		39,136	38,773	63,136	72,136	70,353
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(土木施設使用料、指定管理事業雑入(駐車場)等)	39,136	38,773	63,136	72,136	70,353
一般財源		0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	市営駐車場の管理運営	14,136	14,136	14,136	14,136	13,777
	施設整備	25,000	24,637	49,000	58,000	56,576

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	30,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
81,478	30,736	30,736	△ 32,400
76,727	30,736	30,736	△ 32,400
4,751	0	0	0
査定額	説明		
23,736			
7,000	かじ端駐車場機器修繕 等		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・指定管理者による駐車場の運営・管理 ・市営神明駐車場便所増設工事 ・市営空町駐車場施設修繕工事ほか
評価等	・駐車場利用状況や収支実績などの調査分析により納入金等を見直し、指定管理料の適正化を実施している。 ・指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上を目的に、継続して駐車場の運営・管理を行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・指定管理者による駐車場の運営・管理 ・市営不動橋駐車場ゲートシステム改修工事ほか
評価等	・駐車場利用状況や収支実績などの調査分析により納入金等を見直し、指定管理料の適正化を実施している。 ・指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上を目的に、継続して駐車場の運営・管理を行う。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・駅西駐車場、高山駅西・駅東自転車駐車場の維持管理に必要な経費を計上 ・その他の市営駐車場(9箇所)の維持管理に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり